

## 平成27年度第2回墨田区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日 時： 平成27年10月2日（金）9時30分から10時40分

場 所： 墨田区役所13階 131会議室

- 議事内容：
- 1 開 会
  - 2 福祉保健部長あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 墨田区地域福祉計画の改定について
    - (2) その他
  - 4 閉 会

### 【配布資料】

第三次墨田区地域福祉計画（後期計画）の目次案

第三次墨田区地域福祉計画（後期計画）第1章～第4章（案）

第三次墨田区地域福祉計画（後期計画）第5章（レイアウト案）

墨田区地域福祉計画改定 日程

墨田区地域福祉計画推進協議会委員名簿（平成27年10月1日現在）

平成27年度すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム報告書

墨田区地域福祉計画推進協議会委員

氏 名	所 属	出欠席
山 口 稔	関東学院大学教授	出席
市 川 菊 乃	墨田区医師会会長	欠席
湯 澤 伸 好	東京都本所歯科医師会会長	欠席
濱 野 明 子	墨田区薬剤師会会長	出席
吉 田 政 美	墨田区民生委員・児童委員協議会会長	出席
荘 司 康 男	墨田区障害者団体連合会会長	欠席
野 原 健 治	墨田区私立保育園協会、興望館館長	出席
沼 田 典 之	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
小 林 実	はなみずき高齢者在宅サービスセンター長	出席
横 山 信 雄	墨田区社会福祉事業団事務局長	出席
栗 田 陽	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
椎 名 美恵子	墨田区男女共同参画推進委員会	欠席
石 鍋 光 子	朗読奉仕「くさぶえ」監査	出席
伊 藤 林	個人ボランティア	出席
本 宮 秀 明	全国福祉情報研究会3 SUNネット墨田支部	出席
井 上 久 子	録音グループかりん会長	欠席
齊 藤 宮 子	点訳グループ「きつつき」会長	出席
外 川 浩 子	NPO法人「マイフェイス・マイスタイル」代表	出席
青 木 剛	墨田区福祉保健部長	出席
石 井 秀 和	墨田区子ども・子育て支援担当部長	出席
北 村 淳 子	墨田区保健衛生担当部長	欠席
小久保 明	墨田区区民活動推進部長	出席

事務局

厚生課長 池田 善久  
 障害者福祉課長 小板橋 一之  
 高齢者福祉課長 福田 純子  
 区民活動推進課長 中山 賢治  
 厚生課 東條、山崎、柴田

その他

傍聴者1名

## 議事録

### 【 1 】 福祉保健部長あいさつ

本日の会議は、第三次地域福祉計画（後期計画）の改定案についてと、地域福祉・ボランティアフォーラムについての報告が主な議題となる。忌憚のないご意見をお願いしたい。

（厚生課長より、交代のあった横山委員と栗田委員を紹介した）

### 【 2 】 議事：墨田区地域福祉計画の改定について

#### （ 1 ）事務局（厚生課）より資料の説明

- ・目次において、第4章に「これまでの取り組みと成果と課題」を設け、それ以外は現計画に沿った形となっている。
- ・協治（ガバナンス）による丁寧な改定を目指し、これまでの成果や課題について関係者等へヒアリングやアンケートを行った。それらの意見をどのように活かしたか見える改定とする。
- ・地域福祉を取り巻く状況は、最新のデータに更新している。また、部分的に新しく追加した資料がある。
- ・計画の基本的視点を「プラットフォームによる地域福祉」とし、各取り組み項目を進めていく。
- ・ヒアリングやアンケートにより、これまでの取り組みの成果と課題を把握し、基本目標ごとにまとめた。また、近年の新たな課題として、住民同士のつながりや高齢化などについて記載している。
- ・第5章部分の取り組み内容については、レイアウト・構成を示している。ヒアリングやアンケートの内容を成果と課題に反映させ、その反映が分かるような紙面構成とする。また、実際に行われている取り組み内容を紹介して分かりやすくしたい。
- ・次回の第3回推進協議会にて、中間のまとめを提示する予定である。

#### （ 2 ）委員からの質問・ご意見

これまでの取り組みの成果と課題において、要保護児童対策地域協議会（要対協）や児童虐待への対応、子育てひろばを新たな課題に入れた方が全体を網羅できるのではないかと。また、新たな課題といっても、これまでの課題が改めて示されている内容もある。

子育て分野だけでなく、高齢者や障害者についても同様に、主要な施策や問題点を入れたらどうか。

新制度等も含め、第5章の取り組み内容でも記載していきたい。（厚生課長）

民生委員会長会で班に分かれて話し合いが持たれた。ただ、もう少し地域福祉の在り方について話ができれば良かった。また、地域の核になるところを決めないと、福祉計画は成り立たないのではないかと。

ヒアリング調査の際の写真も載せることができれば良い。質的調査を重視した今回の調査方法は大きな特色であり、子ども・子育て会議でもやろうとしており、このやり方は今後、主流となるだろう。

意見をはじめ、写真も掲載したい。(厚生課長)

社会福祉協議会の役員改正において、民生委員の全地区の会長が理事に入った。今までこのようなことはなかったが、社協と民生委員のつながりがより強く求められていることの表れだろう。理事構成や委員構成をしっかりと考えなければならない。

新たな課題に関して、現在、困難な状況に置かれている子どもへの対応、具体的には貧困問題へ対応していこうとしているため、課題として指摘しておいた方が良い。

基本目標1の課題において、要配慮者のリストの取り扱いが書かれているが、大きな課題である。法改正により自治体でリストを作成することとなるが、活用については国も曖昧であり、区でも詰め切れていない。また、リストを見守り活動へ活用することやリストの管理の問題もあり、これから地域で考えていかなければならない。

他自治体でもリストの情報が集まらない場合があり、リスト作成によってどの程度の配慮があるのかということや、50%の人が自分で身を守るしかないと考えて情報を提出していない現状がある。また、福祉避難所についても、障害の範囲の幅が広く、医療スタッフの問題もある。行政として、これからどのように考えていくか。

本日の議題は計画の改定についてであるため、具体的なことは事務局で検討してもらい、計画の施策に反映できるようにしてもらいたい。

図書館で持っている情報と障害者福祉課の情報が、個人情報保護により連動できていない。学校や教育委員会との連携が書かれていたが、図書館との連携も意識して、プラットフォームの中に図書館も入れたらどうか。ひきふね図書館は、積極的に地域の方を引き込もうとしているし、先行事例としてはどうか。また、職員やボランティアに個人差があり、利用者に敬遠されることもある。上層部では協治を理解していても、末端の活動者が理解していない場合もあり、研修等が必要ではないか。利用者側と支援者側でお互いに意見交換できる場があれば良い。

個人情報の壁について、推進協議会でも議論してはどうか。

#### 山口副会長からのコメント

- ・今回の改定の方針として、基本的な部分を変えないが、この5年間の成果や新しい政策動向を踏まえて一部改定していくとしている。改定でよく取られる手法はアンケートで、広く住民に調査を行い、数値を出して改定するが、その場合は住民の声がなかなか見えてこないため、説得力がない。今回は丁寧な見直しということで質的な調査を行い、その効果は「成果と課題」に具体的に表れている。
- ・今回の調査は協治・ガバナンスを徹底する一環だろう。これまでのガバナンス論は、ネットワーク論や協働論という形で出てきたが、これはセクター論であり、官民や企業、民間活動などのセクターが協力し合い、地域福祉を進めていこうとするものである。そこに、市民側がどこまで協力できるかで、この推進協議会に参加できない市民も大勢おり、できるだけ多くの住民が参加して、課題を共有して解決していこうとすると、いろんな場面で参加できる場を作る必要がある。それがプラットフォームの根幹であり、多様な交流・コミュニケーションの場を作ることがガバナンスを徹底していき、地域福祉を進めていくことになる。
- ・プラットフォーム論は多くの人が多様なことを述べている。本日の案に書かれている内容も、まだ整理しきれていないと思われる。これまでのガバナンスをより進めていくために、次回、墨田区としてのプラットフォームの整理について、図式化して提案したい。
- ・今回の調査を踏まえ、新たな課題も書かれているが、従前からの課題もある。新たな課題とは、問題そのものが新しいということもあるが、その問題を解決のためには「みんなの力が必要」であり、そのことを新たな課題とした方が良いのではないか。「制度だけでは解決できない」、「住民参加を含めてみんなで解決していく必要がある」と性格付けしてはどうか。裏返せば、協治・ガバナンス・プラットフォームで解決していく課題という位置付けであり、解決していく上での視点としていけば、取り組み内容にも反映できるだろう。

#### 【3】 その他

- (1) 厚生課(柴田)より、すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムの報告
  - ・7月4日に開催された、すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムの内容を紹介した。
- (2) 野原委員より、全国地域福祉施設研修会の周知
  - ・来年2月に開催予定の全国地域福祉施設研修会における検討内容を紹介した。